

全国高校総体

第12日は8日、岡山県等岡総合体育館などで6競技が行われ、テニスのダブルス男子は兵庫の大島立暉、菊地裕太組(相

生学院)が初の頂点に立った。シングルス男子は野口莉央(神奈川県・湘南工大付)、女子は細木咲良(島根・開星)が優勝した。重量挙げの105kg級は榎原幹善(沖縄工)が

トータル276kgで制し、兵庫の福居尚弥(淡路)がトータル260kgで4位入賞。ソフトボール男子の決勝は飛龍(静岡)が東温(愛媛)を2-1で退けて22年ぶり3度目の頂点に立った。

大島、菊地組(相生学院) V 男子複

テニス

(最終日) 松江市営庭球場

テニス男子ダブルスで大島菊地組(相生学院)が、4日の団体に続く2冠に輝いた。全国総体で

これまで数々のタイトルを獲得した荒井監督にとってもダブルスでの栄冠は初めて。2人は「ダブルスで優勝していないことには知っていたので絶対に取れたかった」と声を弾ませた。第1セットの序盤は相手にリードを許す展開に



テニス男子ダブルスで優勝を果たした相生学院の大島立暉(左)と菊地裕太組(松江市営庭球場(荒井真美人監督提供))

強打で流れ団体と2冠

【男子】シングルス決勝 野口莉央(神奈川県・湘南工大) 6-1(4) 田中優之(埼玉県・秀英)

【女子】シングルス決勝 細木咲良(島根・開星) 7-5(5) 松田美咲(埼玉県・浦和学院)

ダブルス決勝 大島立暉(相生学院) 6-2(25) 今清水村(大阪・清風)

ダブルス決勝 我那覇地(沖縄・沖繩尚学) 7-5(4) 浮米秀田原(埼玉県・秀英)

ズムに乗った第2セットは、安定した試合運びを見せ、念願の頂点に立った。

休む間もなく、大阪で開かれる全日本ジュニア選手権18歳以下の部に出場する。今大会、シングルスでは優勝を逃した2人は「次こそは単複を制覇したい」と意欲を見せた。

ソフトボール

(最終日) 尾道市御調ソフトボール球場

【男子】決勝

飛龍(静岡) 00000002 12

東温(愛媛) 00000010 12
飛龍(静岡) 00000002 12
飛龍(静岡) 00000010 12

重量挙げ

(最終日) 岡山県等岡総合体育館
94kg級スナッチ ①松本経丸(北海道・札幌琴似) 125kg ②福居尚弥(淡路) 110kg ③同級ジャーク ①松本経丸(北海道・札幌琴似) 162kg ②福居尚弥(淡路) 150kg ③同級トータル